

不二製油（株） 決算補足資料

2024年度（2025年3月期）

- 第4四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1 : 注記 / 為替情報
3	1-1 : 2024年度 連結業績 4Q（3ヶ月）
4	1-2 : 2024年度 通期連結業績
5	1-3 : 2024年度 通期連結業績（事業別・所在地別マトリクス）
6	2-1 : 主な指標
7	3-1 : 2025年度 連結業績予想
8	3-2 : 2025年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

0-1：注記 / 為替情報

注記情報

子会社の決算期変更

業務用チョコレート事業・Blommer Chocolate Company（米国、以降ブラマー）は2024年度より決算期を変更しております。従来は、ブラマーの2月から翌年1月の損益計算書を連結しておりましたが、2024年度からは、ブラマーの4月から翌年3月の損益計算書を連結しております。

国際財務報告基準（IFRS）の任意適用

2025年度より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を任意適用します。

マネジメントアプローチに基づくセグメント情報の変更

2025年度より、グループ本社制（純粋持株会社制）から事業持株会社制へ移行しております。
マネジメントアプローチに基づき、事業損益の実態をより適切に反映させるため、2025年度よりグループ共通経費を各事業に配賦し、開示エリアは、日本、欧米、アジアの3エリアに変更しております。

主な為替レート

・P/L：期中平均レート、B/S：期末レート

		2023年度	2024年度	前期比		2025年度
		期末	期末	差	増減率	予想前提
\$	P/L	144.62	152.58	+7.96	+5.5%	150.00
	B/S	151.41	149.52	▲1.89	▲1.2%	—
BRL	P/L	29.31	27.26	▲2.05	▲7.0%	26.60
	B/S	30.31	26.04	▲4.27	▲14.1%	—
€	P/L	156.80	163.75	+6.95	+4.4%	166.70
	B/S	163.24	162.08	▲1.16	▲0.7%	—
人民幣元	P/L	20.14	21.10	+0.96	+4.8%	21.50
	B/S	20.83	20.59	▲0.24	▲1.2%	—

1-1： 2024年度 連結業績 4Q（3ヶ月）

●業績概要

売上高 1,793億円（前年同期比+368億円）、営業利益 94億円（前年同期比+41億円）

売上高：業務用チョコレート事業における原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇を主因に増収。
 営業利益：業務用チョコレート事業における米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因が発生する一方、植物性油脂事業における日本や東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長や、業務用チョコレート事業における日本などでの販売伸長により増益。

（単位：億円）

		FY2023 4Q実績	FY2024 4Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)
売上高	植物性油脂	457	556	+99	日本、東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長により増収。
	業務用チョコレート	667	927	+260	原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	乳化・発酵素材	220	230	+10	原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	大豆加工素材	83	81	▲1	日本での販売数量の減少により減収。
	合計	1,425	1,793	+368	
営業利益	植物性油脂	37	82	+45	日本、東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長により増益。
	業務用チョコレート	21	21	▲0	日本、東南アジアでの販売が堅調に推移した一方で、米国ブラマーでのカカオ特殊要因の発生により前年並みに推移。
	乳化・発酵素材	8	4	▲4	日本、中国での固定費の増加や、中国での採算性の低下により減益。
	大豆加工素材	▲2	▲1	+1	日本で販売数量は減少した一方で、コスト縮小により営業損失が改善。
	グループ管理費用等	▲10	▲12	▲1	
	合計	53	94	+41	
営業利益率		3.7%	5.2%	+1.5pt	
経常利益		52	75	+24	
親会社株主に帰属する四半期純利益		16	55	+39	営業利益の増加に加え、前年同期に米国ブラマーのシカゴ工場閉鎖に伴う費用が発生した反動により増益。

* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-2： 2024年度 通期連結業績

●業績概要

売上高 6,712億円（前期比+1,071億円）、営業利益 99億円（前期比▲83億円）

売上高：業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加、円安の影響により増収。
営業利益：植物性油脂事業における日本や東南アジアでのチョコレート用油脂CBEや、業務用チョコレート事業における日本、東南アジアでのコンパウンドチョコレートの販売が伸長する一方、米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因により減益。

（単位：億円）

		FY2023 通期	FY2024 通期	前期比 増減額	増減要因(前期比)
売上高	植物性油脂	1,854	2,073	+219	米州では販売数量が減少した一方、日本や東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長により増収。
	業務用チョコレート	2,534	3,347	+813	原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇、日本や東南アジアでの販売伸長、円安の影響により増収。
	乳化・発酵素材	899	942	+43	原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や円安の影響により増収。
	大豆加工素材	355	351	▲4	日本、中国での販売数量の減少により減収。
	合計	5,641	6,712	+1,071	
営業利益	植物性油脂	154	263	+108	日本、東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長により増益。
	業務用チョコレート	18	▲158	▲177	日本、東南アジア、中国での販売が伸長した一方で、米国ブラマーでのカカオ特殊要因により大幅減益。
	乳化・発酵素材	38	34	▲3	日本、中国での固定費の増加や、中国での採算性の低下により減益。
	大豆加工素材	10	7	▲4	日本での販売数量の減少により減益。
	グループ管理費用等	▲39	▲46	▲7	
	合計	182	99	▲83	
営業利益率		3.2%	1.5%	▲1.8pt	
経常利益		168	53	▲115	営業減益に加え、支払利息の増加により減益。
親会社株主に帰属する当期純利益		65	22	▲43	ブラマーでのカカオ特殊要因に伴う営業減益を主因に減益。

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-3： 2024年度 通期連結業績 (事業別・所在地別マトリクス)

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	FY2024	65,473	+8,460	58,384	▲4,629	40,820	+14,334	4,550	+1,232	38,044	+2,525	207,274	+21,923
	FY2023	57,012	+579	63,014	▲16,203	26,485	▲4,372	3,318	▲56	35,519	+1,954	185,350	▲18,097
	FY2022	56,432	-	79,217	-	30,858	-	3,374	-	33,564	-	203,448	-
業務用チョコレート	FY2024	57,953	+11,647	223,344	+53,168	27,372	+7,798	15,093	+7,217	10,931	+1,455	334,696	+81,287
	FY2023	46,306	+4,057	170,175	+16,851	19,574	+1,406	7,876	+409	9,475	+2,171	253,408	+24,895
	FY2022	42,248	-	153,324	-	18,168	-	7,467	-	7,304	-	228,513	-
乳化・発酵素材	FY2024	61,107	+2,089	-	-	16,140	+1,700	16,928	+530	-	-	94,175	+4,320
	FY2023	59,017	+1,319	-	-	14,439	▲1,632	16,398	▲997	-	-	89,855	▲1,309
	FY2022	57,697	-	-	-	16,071	-	17,395	-	-	-	91,164	-
大豆加工素材	FY2024	34,436	▲264	-	-	-	-	580	▲189	47	+47	35,065	▲407
	FY2023	34,701	+1,452	-	-	-	-	770	▲265	0	+0	35,472	+1,188
	FY2022	33,248	-	-	-	-	-	1,035	-	-	-	34,284	-
売上高計	FY2024	218,970	+21,932	281,729	+48,538	84,333	+23,834	37,153	+8,789	49,024	+4,028	671,211	+107,124
	FY2023	197,037	+7,409	233,190	+648	60,499	▲4,598	28,363	▲909	44,995	+4,126	564,087	+6,676
	FY2022	189,627	-	232,542	-	65,097	-	29,273	-	40,869	-	557,410	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	FY2024	10,295	+4,470	4,851	+544	8,156	+6,008	248	+243	3,035	▲46	▲316	▲389	-	-	26,270	+10,831
	FY2023	5,825	+1,875	4,306	+5,244	2,148	▲811	4	+192	3,081	+1,698	73	+218	-	-	15,439	+8,418
	FY2022	3,950	-	▲938	-	2,959	-	▲187	-	1,383	-	▲145	-	-	-	7,021	-
業務用チョコレート	FY2024	9,751	+3,490	▲31,354	▲24,690	3,185	+1,883	2,540	+2,319	1,263	+586	▲1,219	▲1,263	-	-	▲15,833	▲17,674
	FY2023	6,261	+632	▲6,664	▲4,639	1,301	+419	221	+182	676	+301	44	▲29	-	-	1,840	▲3,132
	FY2022	5,629	-	▲2,025	-	882	-	38	-	375	-	73	-	-	-	4,973	-
乳化・発酵素材	FY2024	3,413	▲117	-	-	233	+540	▲47	▲622	-	-	▲156	▲150	-	-	3,444	▲349
	FY2023	3,531	+1,368	-	-	▲306	+125	574	+760	-	-	▲5	+49	-	-	3,793	+2,302
	FY2022	2,163	-	-	-	▲432	-	▲185	-	-	-	▲54	-	-	-	1,490	-
大豆加工素材	FY2024	1,090	▲465	-	-	-	-	190	▲84	▲803	+80	179	+85	-	-	656	▲383
	FY2023	1,555	+209	-	-	-	-	275	▲9	▲884	▲508	94	+71	-	-	1,040	▲237
	FY2022	1,346	-	-	-	-	-	284	-	▲376	-	22	-	-	-	1,277	-
連結調整	FY2024	139	+11	▲95	▲82	▲51	▲74	0	+7	84	+27	▲268	▲90	-	-	▲192	▲202
	FY2023	127	▲30	▲13	▲5	22	+75	▲6	▲23	57	+190	▲177	▲166	-	-	10	+40
	FY2022	158	-	▲8	-	▲52	-	16	-	▲133	-	▲10	-	-	-	▲30	-
グループ管理費用	FY2024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,450	▲539	▲4,450	▲539
	FY2023	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,910	▲118	▲3,910	▲118
	FY2022	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,792	-	▲3,792	-
営業利益計	FY2024	24,690	+7,389	▲26,599	▲24,227	11,523	+8,357	2,932	+1,863	3,579	+648	▲1,780	▲1,809	▲4,450	▲539	9,895	▲8,318
	FY2023	17,301	+4,053	▲2,371	+600	3,166	▲190	1,069	+1,102	2,930	+1,682	28	+143	▲3,910	▲118	18,213	+7,273
	FY2022	13,247	-	▲2,972	-	3,356	-	▲33	-	1,248	-	▲114	-	▲3,792	-	10,940	-

2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	FY2022	FY2023	FY2024(累計実績)				FY2025 予想 IFRS
						1Q	2Q	3Q	4Q	
PL項目	営業利益 (FY2025は事業利益)	億円		109	182	74	47	5	99	295
	営業利益成長率	%		▲27.1%	+66.5%	+107.6%	▲47.1%	▲96.1%	▲45.7%	-
	EBITDA	億円		312	453	126	148	157	302	-
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	215	151	37	121	165	257	-
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	146	149	38	74	110	147	-
	ROA	%	経常利益÷総資産	2.2%	3.6%	5.1%	1.0%	-	1.0%	4.0%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	3.1%	3.0%	7.9%	0.9%	-	1.0%	7.7%
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	1.1%	1.2%	3.1%	0.3%	-	0.3%	2.1%
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.26	1.20	1.20	1.30	1.27	1.26	1.39
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.3	2.0	2.3	2.3	2.5	2.8	2.6
BS項目	ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)	2.0%	3.5%	4.7%	1.6%	0.1%	1.4%	4.5%
	総資産	億円		4,688	4,702	5,463	5,018	5,653	5,966	5,750
	有利子負債	億円		1,684	1,303	2,031	1,929	2,337	2,840	2,285
	NET有利子負債	億円		1,494	1,028	1,698	1,581	1,951	2,134	2,085
	NET運転資本	億円		819	899	1,228	1,052	1,030	816	-
	自己資本比率	%		43.3%	49.4%	43.9%	42.6%	39.3%	35.3%	38.5%
	負債比率	%		127.1%	97.3%	122.3%	129.9%	149.4%	181.5%	-
	のれん(広義)	億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、 その他無形固定資産等を含んだもの	552	517	533	464	490	460	-
	のれん償却額	億円		26	26	6	11	17	22	-
	のれん(広義)純資産比率	%		26%	21%	21%	21%	21%	21%	-
CF項目	D/Elシオ	倍	有利子負債÷自己資本	0.83	0.56	0.85	0.90	1.05	1.35	-
	Net D/Elシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金) ÷株主資本	0.80	0.54	0.91	0.87	1.11	1.22	1.11
	営業キャッシュフロー	億円		76	482	▲386	▲266	▲497	▲506	500
	投資キャッシュフロー	億円		▲165	88	▲44	▲89	▲131	▲217	▲400
	フリーキャッシュフロー	億円		▲89	570	▲430	▲355	▲629	▲724	100
	財務キャッシュフロー	億円		98	▲500	476	438	724	1,149	▲650
	CCC	日		104	102	122	107	121	124	100

*1 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。

*2 FY2024.1Q、2Q、3QのROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

*3 プラマーに係るのれんの追加償却は除く。

※主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2024 通期	日本 製造設備向け等	117
	米州 プラマー設備投資等	50
	米州 ハラルド設備投資等	23
	計	257

株主還元

株主還元方針
・配当性向30-40%
・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021	26	26	52	38.9%
2022	26	26	52	73.0%
2023	26	26	52	68.5%
2024	26	26	52	200.4%
2025 予想	26	26	52	27.1%

3-1： 2025年度 連結業績予想

●業績概要

売上高 8,000億円、事業利益 295億円

売上高：主原料であるパーム油、パーム核油、カカオなどの原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
事業利益：2024年度の一過性原料差益の剥落を見込むも、業務用チョコレート事業における米国ブラマーでのカカオ特殊要因の改善、販売価格の適正化により増益を計画。

		(単位：億円)			
		FY2024実績 参考値	FY2025予想 (IFRS)	増減額	増減要因(前期比)
売上高	植物性油脂	2,073	2,485	+412	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
	業務用チョコレート	3,347	4,158	+811	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
	乳化・発酵素材	942	1,000	+58	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
	大豆加工素材	351	357	+6	日本での販売数量の増加により増収を計画。
	合計	6,712	8,000	+1,288	
事業利益	植物性油脂	269	197	▲73	日本、アジアを中心としたチョコレート用油脂CBEの堅調な販売を見込むも、2024年度の一過性原料差益の剥落により減益を計画。
	業務用チョコレート	▲147	106	+253	2024年度の一過性原料差益の剥落を見込むも、米国ブラマーでのカカオ特殊要因の改善や販売価格の適正化により増益を計画。
	乳化・発酵素材	20	13	▲7	原材料価格の上昇、固定費の増加により減益を計画。
	大豆加工素材	▲4	2	+6	日本での販売数量の増加により増益を計画。
	連結調整	▲9	▲22	▲14	
	合計	130	295	+165	
事業利益率		1.9%	3.7%	+1.8pt	
親会社の所有者に帰属する当期利益		-	165	-	

*1 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。
*2 2024年度実績は、日本基準の営業利益をベースとし、会計基準変更における主な項目を反映させた参考値を記載しております。

3-2： 2025年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

売上高

（単位：億円）

	年度	日本	欧米	アジア	連結計
		前期比	前期比	前期比	前期比
植物性油脂	2025 予想 (IFRS)	720 +65	1,275 +311	490 +36	2,485 +412
	2024 実績 参考値	655 -	964 -	454 -	2,073 -
業務用チョコレート	2025 予想 (IFRS)	660 +80	3,018 +675	480 +55	4,158 +811
	2024 実績 参考値	580 -	2,343 -	425 -	3,347 -
乳化・発酵素材	2025 予想 (IFRS)	640 +29	- -	360 +29	1,000 +58
	2024 実績 参考値	611 -	- -	331 -	942 -
大豆加工素材	2025 予想 (IFRS)	350 +6	2 +2	5 ▲1	357 +6
	2024 実績 参考値	344 -	0 -	6 -	351 -
売上高計	2025 予想 (IFRS)	2,370 +180	4,295 +987	1,335 +120	8,000 +1,288
	2024 実績 参考値	2,190 -	3,308 -	1,215 -	6,712 -

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

事業利益

	年度	日本	欧米	アジア	連結調整	連結計
		前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
植物性油脂	2025 予想 (IFRS)	62 ▲33	73 ▲8	62 ▲36	- +4	197 ▲73
	2024 実績 参考値	95 -	81 -	97 -	▲4 -	269 -
業務用チョコレート	2025 予想 (IFRS)	46 ▲39	37 +316	22 ▲36	- +13	106 +253
	2024 実績 参考値	85 -	▲279 -	58 -	▲13 -	▲147 -
乳化・発酵素材	2025 予想 (IFRS)	12 ▲10	- -	1 +1	- +2	13 ▲7
	2024 実績 参考値	22 -	- -	0 -	▲2 -	20 -
大豆加工素材	2025 予想 (IFRS)	7 +6	▲7 +1	2 ▲1	- ▲0	2 +6
	2024 実績 参考値	1 -	▲8 -	3 -	0 -	▲4 -
連結調整	2025 予想 (IFRS)	- +0	- +0	- +1	▲22 ▲14	▲22 ▲14
	2024 実績 参考値	▲0 -	▲0 -	▲1 -	▲8 -	▲9 -
事業利益計	2025 予想 (IFRS)	127 ▲76	103 +309	88 ▲71	▲22 +4	295 +165
	2024 実績 参考値	203 -	▲206 -	159 -	▲26 -	130 -

2024年度実績は、日本基準の営業利益をベースとし、会計基準変更における主な項目を反映させた参考値を記載しております。

なお、マネジメントアプローチに基づき、グループ管理費用は各事業に配賦し、開示エリアを変更しております。

不二製油（株） IR参考資料

2024年度（2025年3月期）

- 第4四半期 -

ページ	項目
9	表紙
10	IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）
11	IR補足②：主要原料チャート（2025年4月末まで）
12	IR補足③：主なトピックス、ピックアップ

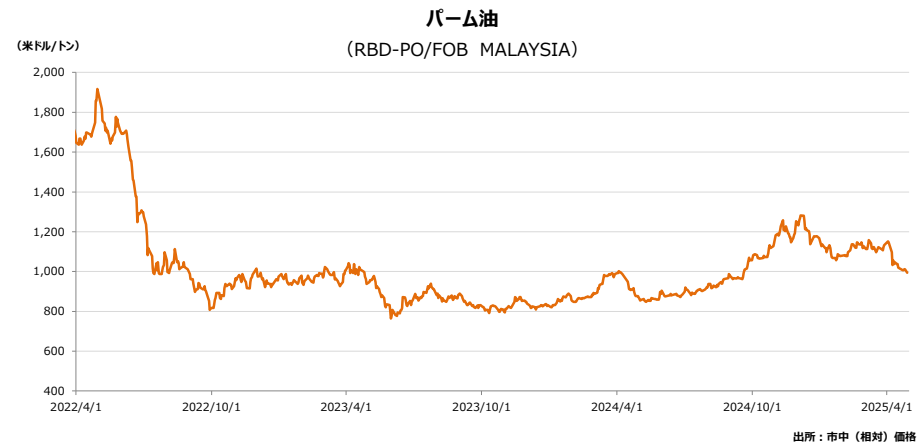
IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）

セグメント	エリア	製品群	2022年度 実績							2023年度 実績							2024年度 実績							2024年度 4Qポイント
			1 Q	2 Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1 Q	2 Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1 Q	2 Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂 (CBE,CBR,CBS)	111%	106%	108%	91%	98%	94%	100%	92%	91%	91%	102%	107%	104%	98%	106%	106%	106%	110%	101%	106%	106%	チョコレート用油脂CBEの販売が伸長。
	米州		113%	94%	103%	100%	77%	87%	96%	82%	91%	86%	116%	126%	121%	102%	84%	89%	86%	94%	75%	85%	85%	流通菓子向けの販売が減少。
	東南アジア		107%	105%	106%	84%	88%	86%	95%	91%	87%	89%	102%	109%	105%	97%	104%	137%	120%	117%	109%	113%	116%	チョコレート用油脂CBEの販売が伸長。
	欧州		109%	70%	88%	69%	80%	75%	81%	84%	124%	102%	122%	111%	116%	109%	102%	94%	98%	95%	90%	92%	95%	EUDR施行延期の影響により減少。
業務用チョコレート	日本	チョコレート (カカオ製品含む)	98%	96%	97%	93%	95%	94%	96%	97%	101%	99%	101%	101%	100%	103%	102%	103%	99%	103%	101%	102%	102%	製パン向けの販売が堅調。
	米州(ブラジル)		112%	105%	108%	100%	102%	101%	104%	118%	110%	113%	109%	116%	113%	113%	98%	99%	99%	108%	105%	107%	103%	イースター向けの販売が伸長。
	東南アジア		105%	109%	107%	103%	112%	108%	107%	107%	109%	108%	110%	94%	102%	105%	117%	113%	115%	107%	111%	109%	112%	製菓・製パン向けの販売が伸長。
	中国		77%	103%	91%	87%	110%	97%	94%	112%	76%	89%	98%	141%	115%	101%	110%	96%	103%	118%	81%	100%	101%	製パン向けの販売が減少。
	欧州		120%	129%	125%	114%	111%	112%	118%	119%	106%	112%	107%	114%	111%	111%	107%	101%	104%	115%	81%	97%	101%	EUDR施行延期の影響により減少。
	合計(ブラマー除く)		104%	105%	104%	98%	103%	100%	102%	108%	104%	106%	106%	108%	107%	106%	106%	103%	105%	106%	103%	105%	105%	
	ブラマー		95%	92%	94%	87%	94%	90%	92%	84%	89%	86%	94%	88%	91%	88%	84%	77%	80%	76%	78%	77%	79%	シカゴ工場の閉鎖により減少。
	合計(ブラマー含む)		99%	98%	98%	93%	98%	96%	97%	95%	96%	96%	100%	99%	100%	98%	95%	91%	93%	93%	93%	93%	93%	
乳化・発酵素材	日本	クリーム	97%	106%	101%	104%	105%	104%	103%	108%	107%	107%	110%	108%	109%	108%	98%	97%	98%	93%	101%	97%	97%	洋菓子向けの販売が伸長。
		マーガリン ショートニング	104%	106%	105%	101%	104%	103%	104%	100%	99%	99%	96%	99%	98%	99%	101%	102%	102%	100%	97%	99%	100%	製パン向けの販売が減少。
	東南アジア	クリーム	84%	134%	105%	86%	94%	90%	98%	89%	81%	85%	112%	89%	100%	92%	97%	109%	104%	118%	111%	115%	109%	製パン向けの販売が堅調。
	中国	マーガリン ショートニング	124%	80%	102%	73%	83%	77%	89%	73%	118%	90%	93%	99%	96%	93%	88%	95%	91%	126%	92%	110%	100%	競争環境の激化により、販売数量が減少。
		フィリング	88%	92%	90%	87%	87%	87%	88%	94%	94%	94%	104%	99%	101%	98%	104%	108%	106%	95%	106%	100%	103%	重点製品の販促効果により、販売数量が増加。
大豆加工素材	日本	大豆たん白素材	96%	98%	97%	95%	92%	93%	95%	100%	97%	98%	104%	98%	101%	100%	100%	102%	101%	96%	100%	98%	99%	前年並みに推移。
		機能剤	87%	110%	97%	108%	120%	114%	104%	84%	86%	85%	95%	79%	86%	86%	99%	92%	96%	106%	96%	101%	98%	飲料向けの販売が減少。

*1:製品区分の見直し等により、過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき記載しております。

*2:INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITED、Blommer Chocolate Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd.は2022年度期末に、ブラマーは2024年度に決算期を変更しておりますが、販売数量推移は前年同月と比較しております。

IR補足②：主要原料チャート（2025年4月末まで）

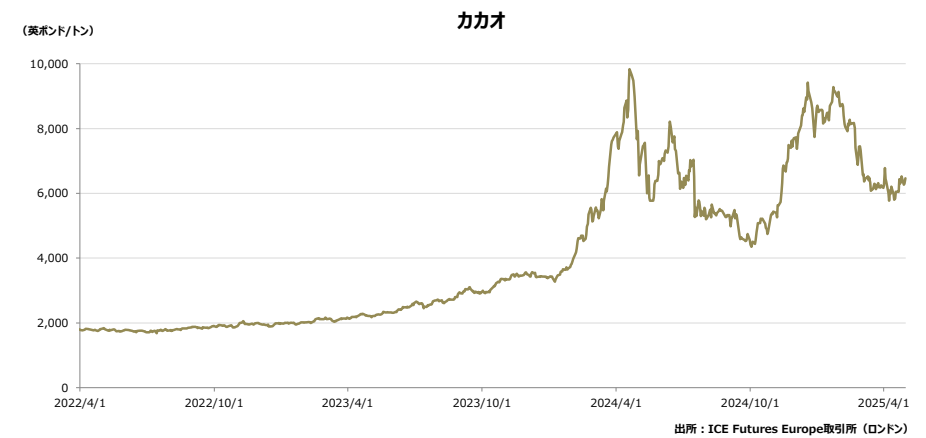


【市況】

生産量減少の懸念があるも、パーム油の割高感から他油種への需要シフトや、米国の関税政策による景気後退懸念により相場は下落。

強材料：マレーシアでの生産伸び悩み懸念。中東情勢及びロシア/ウクライナ情勢による原油価格上昇懸念。

弱材料：世界的な景気後退懸念。

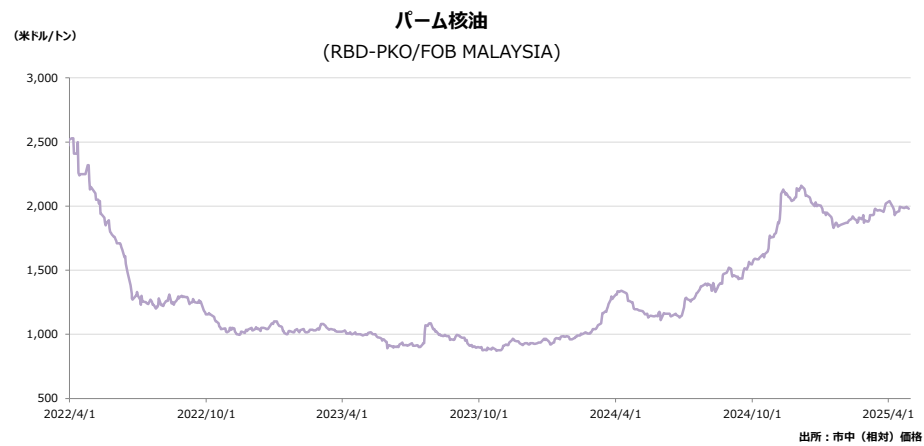


【市況】

24/25クロップの収穫は低調な水準が見込まれるが、需要減退や米国関税政策の不透明感により相場は下落。

強材料：認証在庫減少による供給逼迫懸念。生産地での天候懸念。

弱材料：中南米での生産向上見込み。チョコレート価格高騰による消費者の消費意欲の低下。



【市況】

バイオディーゼル用途の需要増によるヤシ油価格の上昇に伴い、パーム核油相場も上昇。

強材料：ヤシ油の減産懸念。ヤシ油のバイオディーゼル用途での需要増に伴う、パーム核油相場の連れ高。

弱材料：ヤシ油の生産回復期待。世界的な景気後退懸念。



【市況】

米国関税政策の不透明感や、産地における良好な天候による生産量増加の見込みにより、相場は低調に推移。

強材料：米国での搾油需要の増加。

弱材料：ブラジル産大豆の好調な収穫進捗。米国と中国の貿易摩擦。

IR補足③：主なトピックス、ピックアップ

●2024年度 主なトピックス（日付はWEBサイトでの公開日）

日付	Topics
2024.4.17	植物性素材で動物性食品特有の「満足感」を実現する技術MIRACORE®ブランドサイト およびMIRA-Dashi®製品サイト公開のお知らせ
2024.4.19	公募ハイブリッド社債（劣後特約付社債）の発行条件決定に関するお知らせ
2024.4.26	製品の価格改定に関するお知らせ（2024年7月より実施）
2024.5.15	令和6年春の褒章にて「黄綬褒章」受賞のお知らせ
2024.5.16	大阪産（もん）マルシェ ～Road to EXPO 2025～ の出展のお知らせ
2024.5.23	完全子会社である不二製油（株）の合併並びに商号の変更及び定款の一部変更について
2024.6.3	「豆乳クリームバター」小売発売のお知らせ
2024.6.7	劣後特約付シンジケートローンの契約締結に関するお知らせ
2024.8.28	プラントベースフード（植物性食品）に関するオンライン調査の実施について
2024.9.6	「統合報告書 2024」「サステナビリティレポート 2024」公開
2024.9.20	公益財団法人不二たん白質研究振興財団によるオンライン公開講演会のお知らせ
2024.10.25	CO ₂ を活用した大豆育成研究プロジェクト進捗について

日付	Topics
2024.11.7	老舗蕎麦店と共同開発 「やさしいつゆ」 小売販売のお知らせ
2025.1.23	株主優待制度の一部変更に関するお知らせ
2025.1.28	「サステナブル・オリジン」サイトのリニューアル、公式noteの開設について
2025.2.10	Minna no Ramen. project（通称：みんラー）始動のお知らせ
2025.2.10	植物性濃縮ラーメンスープ3種（豚骨風、味噌、塩）発売開始のお知らせ
2025.2.14	CDP2024 水セキュリティでA（最高評価）、フォレストでA-の評価獲得
2025.2.20	カカオ豆高騰に対応する高品質のコンパウンドチョコレートから、ミルクチョコレートタイプ発売のお知らせ
2025.2.25	連結子会社株式の追加取得による完全子会社化に関するお知らせ
2025.3.12	カカオ豆由来の原料を全く使用しない、ミルクチョコレートタイプの新製品発売について
2025.3.25	責任あるパーム油調達方針 進捗レポート（2024年1月～6月）
2025.3.25	国際財務報告基準（IFRS）の任意適用に関するお知らせ
2025.4.1	新「不二製油株式会社」の発足について
2025.4.3	2050年を見据え「不二製油グループ環境ビジョン2030」改定
2025.4.25	PROVENCE HUILES S.A.S の株式取得に伴う子会社の異動に関するお知らせ

●ピックアップ

カカオ豆由来の原料を全く使用しない、
ミルクチョコレートタイプの
新製品発売

不二製油株式会社は、カカオ豆由来の原料を全く使用せずに、ミルクチョコレートのように扱える業務用の新製品を2025年3月に発売しました。これまで培った植物油脂とチョコレートの知見を活用し、ミルクチョコレートタイプながらカカオマスやココアバター等のカカオ豆由来の原料を全く使用しない、当社初の製品です。エンドウ豆、キャロブ（イナゴマメ）、チョコレート用油脂等を用いて設計しています。「おいしさ」を重視し、ミルクチョコレートと同様に取扱いえる「簡便さ」、遜色のない「くちどけ」が特徴です。ミルクチョコレートの代わりとしてご利用ができ、ご使用されているチョコレートの一部を本製品に置き換えても、おいしさを損なわずに仕上がります。昨今のカカオ豆相場の高騰等により、お困りになられているお客様へ、カカオ由来原料の使用量を節約しつつ、おいさとコストパフォーマンスを備えた新たな選択肢としてご案内します。



責任あるパーム油調達方針
進捗レポート(2024年1月～6月)

責任あるパーム油調達方針のもと、NDPE（No Deforestation, No Peatland Development and No Exploitation）達成に向け、活動を行っています。2024年1月から2024年6月までに実施したトレーサビリティ確保とサプライチェーン改善活動における進捗レポートを発行しました。



2050年を見据え
「不二製油グループ環境ビジョン2030」改定

不二製油株式会社は、サステナブルな食の未来の実現に向けて、従来の2030年度CO₂排出量削減目標を1.5℃水準へ改定し、新たに2050年度ネットゼロ目標を設定します。また水使用量削減目標も改定します。
不二製油グループは、おいさと健康の両立ならびにサステナブルな食のバリューチェーンの構築に取組み、自然と共生する社会を目指し、環境に配慮したもののづくりを推進しています。さらなる省エネルギーや再生可能エネルギーの導入に加え、水使用効率の向上に努めると共に、バリューチェーン上のステークホルダーとの共創をより強化し、環境課題の解決に貢献する製品の開発と普及に取り組んでまいります。